県建設業協会谷山支部総会

新支部長に八反田氏選出

県建設業協会谷山支部（冨迫茂支部長代理）は14日、鹿児島市の中原別荘で14年度通常総会を開き、公共投資の確保と平準化施行の推進などを基本方針とする新年度事業計画を決めたほか、任期

新役員の紹介などがあった総会
＝鹿児島市の中原別荘で

先月の臨時総会において役員を選出。互選により八反田国広氏（錦江建設㈱）を新支部長に決定した旨を報告した。

総会では、冨迫支部長代理が「公共工事の縮減や入札適正化法の施行など業界を取り巻く環境はするために一層の団結を強め、経営の合理化、資質の向上を図りながら融和と協力を重ねて精進したい」と挨拶。

続いて、冨迫支部長代理を議長に選出し議事に入り、13年度事業報告決算、14年度事業計画・収支予

八反田国広新支部長

算を通り承認した。

八反田国広新支部長は、「現状は考える以上に大変で不安も感じる。組合の目標は谷山地区の工事量の増大・確保にあります。そのためには地道な活動と協力なくしてはできません。苦境を乗り越えるように皆様と共に頑張っていきたい」と決意を述べた。

新年度事業計画では、①公共事業の継続的な拡大と受注機会確保対策②適正な入札契約制度改善対策③公共工事の早期発注及び平準化対策④人材育成・確保対策⑤労働安全、災害防止対策の推進―など。

建設業協同組合第33回通常総会も開かれた。

新役員、表彰者は次の通り。

【新役員】支部長＝八反田国広（錦江建設㈱）▽副支部長＝冨迫茂（㈱冨迫組）▽理事＝三反田義光（㈱三反田建設）田上勝征（㈱古川組）池平國夫（丸平建設㈱）増田信明（㈱増田勇建設）上村清俊（清輝建設㈱）内山徳明（㈱内山武組）▽監事＝四元逸男（有）外城戸建設）吉永洋一（㈱吉永土木）

【表彰者】従業員の部＝小田孝雄（㈱吉永土木）藤川信彦（㈱前屋敷組）福田政雄　八反田勉　前野芳信（錦江建設㈱）高口実美（㈱東宝建設）池田健（㈱堀脇組）秋田憲克（稲森クレーン建設㈱）福島克則（米盛機動㈱）

木陰

久永　義治

3度目の涙

先月27日、我が社で1番若い社員が結婚式を挙げた。あいにくの雨だったが、同僚による手作りの披露パーティーは最高に盛り上がった。話は平成7年に遡るが、実は彼は高校1年の1学期に中退した。父親は先生の前で「情けない」と号泣されたと聞く。8月のうだる暑さのなか彼は我が社に雇って欲しいと相談に来た。社長は「1年間1日も休まず仕事が出来たら社員にしよう」ということで見習いが決定した。この痩せた体で続くだろうかというのが社長の本音だったという。初めての現場は自社開発のゴルフ練習場で、建築の基礎工事が急ピッチで進められていた。当時開発責任者だった私は、毎朝彼が山の上まで歩いて通勤していたことを今でも昨日のことのように思い出す。

彼は皆から可愛がられ、懸命に頑張り1年を待たず正式に社員になった。しばらくしてまた社長に相談をする。今度は現場監督になりたいという。「数学など専門的な勉強をしなければ2級土木も受からない。もともと勉強がきらいで高校を辞めたのに続くのか」。高校を中退したことを悔やんだが、彼は意を決して平成10年4月鹿児島工業高校の定時制に入学した。今でも我が社の現場は鹿児島市外や夜間作業が多いが、社長の指示で彼はできるだけ会社に近い昼間の現場に配置された。甲斐あって1日も休まずに通い、今年3月めでたく首席で卒業した。並大抵の努力では成就できないことは容易に察しがつこう。父親は内祝いの席で泣かれたそうだ。3月末社員数人とともに私なりのささやかなお祝いをしたが、「オヤジが泣くのを見たのはこれで2回目です」。彼の口からしみじみと出た言葉。そして入籍の報告。式は挙げないという2人に「おまえの一生のことだから」と社長が説得。

そして冒頭のくだりのとおりである。奇しくも、場所は『ゴルフプラザ・ビスタ』の多目的ホール。彼にとっては社会人としての原点の場所である。みんなの温かい祝福とともに、彼の感謝の言葉が静かに響いた。披露パーティーの席ではこらえておられたが、入籍の話をしたとき若い2人を前に父親は3度目の涙を流されたという。

弱冠22歳、こんな若い社員たちが我が社を支えてくれていると思うと本当に心強い。厳しい現実ばかりが立ちはだかるこのごろ、感動を忘れかけていたけれども、久しぶりにすがすがしい思いをさせてもらった。

（五月産業㈱取締役副社長）

県建設業協会甑島支部総会

新支部長に純浦氏選任

県建設業協会甑島支部（中野力丸支部長）は14日、薩摩郡上甑村の甑島建設会館で第9回通常総会を開き、労働災害の撲滅、経営強化に関する研修会などの開催、地域社会への貢献活動などを盛り込んだ新年度事業計画などを原案通り可決し、任期満了に伴う役員改選では、新支部長に純浦勝志氏（㈱塩田建設）を選任した。また、甑島建設業協同組合（同理事長）の第9回通常総会も同日開かれ、すべて原案通り可決した。

総会では、中野支部長が「聖域なき構造改革のもと、公共事業費の削減により、厳しい経営を余儀なくされているが、社会資本整備の遅れている当地域などへの重点配分を陳情していきたい。また、時代の要請に応えて技術力と経営の強化に努め、労働災害撲滅のために安全パトロール等を実施し、信頼される企業・支部として地域の発展に寄与するために今後とも各位の協力をお願いする」と挨拶した。

新役員等を決めた総会
＝上甑村の甑島建設会館で

純浦勝志新支部長

引き続き、神山幸紀氏（宮内建設㈱）を議長に選出して議事に入り、13年度事業・決算報告、新年度事業計画・収支予算などについてすべて原案通り可決し、任期満了に伴う役員改選では、純浦氏を新支部長に選任した。

新役員は次の通り

支部長＝純浦勝志▽副支部長＝中野力丸（中野建設㈱）▽理事＝濵田拓朗（平成建設㈱）神山幸紀（宮内建設㈱）中道幸人（巡田建設㈱）▽監事＝平嶺繁（㈱ヒラミネ）中村成宏（太伸建設㈱）

県建設業協会建築支部役員改選

深野木支部長が続投

県建設業協会建築支部（深野木嘉彦支部長）は、先日行われた14年度通常総会で選出された理事らの互選により、深野木支部長の続投を決定した。

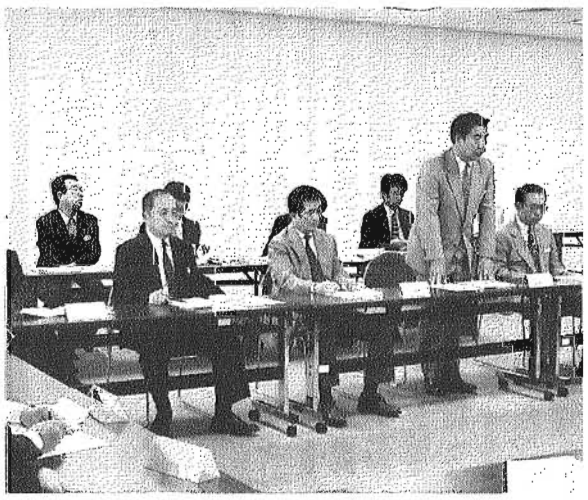
新役員は次の通り（㊟は新任）。

支部長＝深野木嘉彦（㈱深野木組）▽理事＝上塘守（㈱上塘組）㊟内門一郎（㈱内門工務店）㊟川井田哲（㈱川井田組）▽監事＝荒瀬逸郎（中島建設㈱）

県公共工事制度改正等説明会

市町村への周知要望

県公共工事制度改正等説明・意見交換会は14日、鹿児島市の県庁会議室で開き、中間前金払い制度の導入、入札監視委員会の設置、建設リサイクル法全面施行などについて話し合った。業界側は県に対し、市町村への改正趣旨の周知徹底を要望した。



会議には、県土木部の直江延明部長、両次長、担当課長ら、業界側から谷口屯県建設業協会長、電設、管工事、造園の各代表らが出席。直江部長が公共事業推進に対し、業界への謝意を述べたあと説明に移った。

佐野義一監理用地課長は、建設工事請負契約標準書式一部改正に伴う諸制度の概要を順次説明。入札事務等の公正確保、透明性向上のため、第三者機関である「県入札監視委員会」を設置したことを報告。6月にも初会合を開くことを明らかにした。

また、今月30日から建設工事の分別解体が義務付けられることから、法の順守と業界への周知を呼びかけた。

入札監視委員会設置等を説明する県当局＝鹿児島市の県庁で

【お知らせ】毎週水曜日掲載の「鹿児島新幹線企画」は休みました。